

Kuroshio

スピニングリール

取扱説明書

この度は、お買い上げ頂きまして誠に有難う御座います。
トラブルのない楽しい釣りをして頂くために、
この取扱説明書をよくお読みの上ご使用下さい。
また、後日必要な時のためにこの取扱説明書は
大切に保管してください。



<http://www.tailwalk.jp>

パーツ及び修理に付きましては、お買い上げの釣具店もしくは
全国主要釣具店または下記宛にお問い合わせ下さい。
なお修理は部品代のほか手数料を頂きますのでご了承下さい。

株式会社 **エイテック**

〒173-0012 東京都板橋区大和町42-11
Tel : 03-3963-8451
Fax : 03-3963-0776
HP : <http://www.alphataackle.com>

ご使用上の注意



注意

安全上の注意
・釣り以外の目的に使用しないでください。
・根掛りした場合は、竿やリールを使わず糸を手にとって外してください。
その際は、ケガが無いように手袋やタオル等で手を保護してください。
・糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。
糸でケガをする恐れがあります。
・メッキや塗装等の表面処理が剥がれた場合、その部分が鋭利になっている
ことがあります。怪我をする恐れがありますので触らないでください。
・リールの回転部にはグリスが付いていますので、服を汚さないように
注意してください。
・ベールを起し忘れてのキャストングは大変危険です。思わぬ事故につ
ながる恐れがございます。
・キャストする際は、糸で指を傷つける恐れがあります。
十分にご注意ください。
・ワンウェイクラッチには注油しないでください。※搭載機種に限る
ハンドルが逆転しケガをする恐れがあります。
・本体を分解、修理、改造しないでください。リールの性能を損ない、
安全機能が働かなくなり、ケガをする恐れがあります。

リール本体について
・火気やストーブのそば等、高温になる場所での保管、使用等はしないで
ください。変形や故障の原因となります。
・お手入れ時、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は、ご使用に
ならないでください。変形や故障の原因となります。
・リールを保管するときは、真水で洗浄してから水分を拭き取り、陰干しを
した後、直射日光や高温多湿を避けて保管してください。
・落下などの衝撃をあたえと破損する恐れがあります。取り扱いには
十分ご注意ください。
・洗浄後にドライヤーや発熱器具を使つての乾燥はお止めください。
樹脂等が変形する恐れがあります。
・使用ラインの径の誤差、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスにより
表示糸巻き量、糸巻き状態に差が生じます。



警告

・幼児の手の届く場所に置かないでください。予期せぬ事故やケガに
つながる恐れがあります。
・キャストング時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。
釣針が人にさざったり、フックやオモリ等が人に当たると非常に危険です。
重大事故に繋がる恐れがありますので、十分に注意してください。



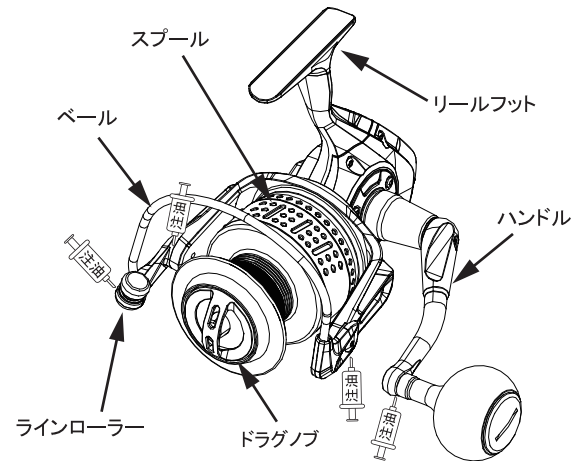
注意

・回転しているとき、回転部には触れないでください。
ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意：この表示は「人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

⚠ 警告：この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

各部の名称



リールのお手入れ

- ①リール本体は中性洗剤を含ませたスポンジや布等で汚れを落とします。
- ②弱めのシャワーなどの水で洗剤と汚れを洗い流してください。
スプール部にも水をかけて汚れや塩分を落とします。
洗う際は、ドラグは締めてください。
- ③保管の際は、十分に乾燥させ、ドラグ性能を長く維持するためにもドラグ
に関係する箇所は緩めておくことをお勧めいたします。

⚠ 注意

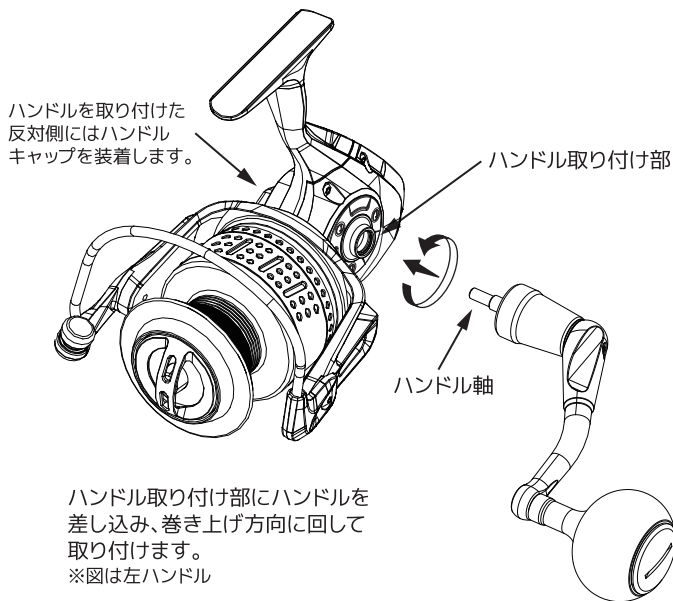
- 洗剤は中性洗剤をご使用ください。
- 水没させて洗うことはお止めください。
- ドラグ部分にはオイル等を注油しないでください。
ドラグ力の低下や作動不良につながります。
- 高温多湿の場所に長時間放置すると、変形や強度劣化の原因となります。
- 市販のスプレー式防錆剤や潤滑剤は絶対に使用しないでください。
故障の原因となる場合があります。リール専用の潤滑剤等をお使いください。

ハンドル取り付け

リール本体のハンドル取り付け部にハンドル軸をまっすぐに押し込み、巻き上げ方向にハンドルを回すことによって、ハンドルを取り付けることができます。

また、ハンドルを取り付けた反対側のネジ穴には必ずハンドルキャップを取り付けてください。

巻き上げ方向と逆方向にハンドルを回すと取り外すことができます。



ハンドル取り付け部にハンドルを差し込み、巻き上げ方向に回して取り付けます。
※図は左ハンドル

△ 注意

ハンドル軸が斜めに入るとネジ山を破損する恐れがありますので、そのような場合は、無理をせずに最初の工程からやり直してください。

マニュアルベール

※オートリターン除く

キャストの勢いで発生する不意なベールの返りを防止します。
マニュアルベール仕様のリールは、巻き上げ時に必ず手動でベールを返してください。

キャスト時

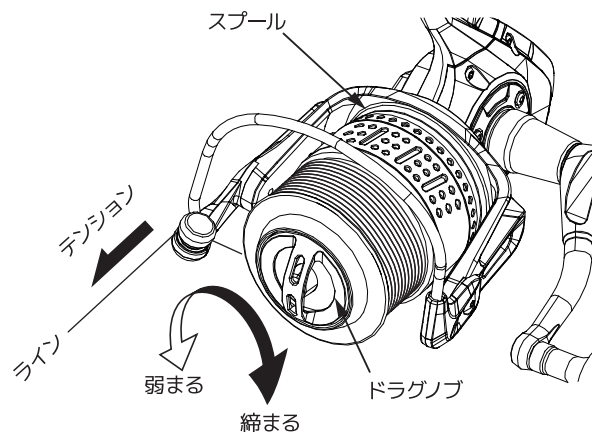
キャスト時は、ラインローラーがロッド側にある状態でラインを指に掛けベールを返してから行ってください。

※ベールを返し忘れてのキャストは大変危険です。

ドラグ調整

ドラグは、ドラグノブによって調整します。魚の引きによる糸切れやリールやロッドの損傷を防ぎます。必ず行ってください。

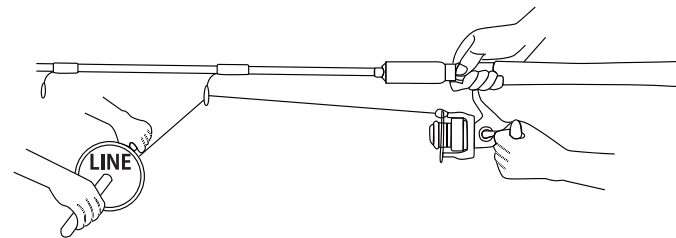
- ①ドラグノブを右に回すと強く締め、左に回すと弱くなります。
 - ②リールを使用ロッドに取付けラインをガイドに通して調整します。
 - ③ドラグの調整目安は、ライン強度の1/3～1/4程度をお勧めいたします。
- ※使用するロッドの最大ドラグ強度も合わせてご確認ください。



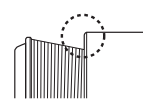
糸を巻きます

- ①ベールを返した状態でスプールの軸にラインをしっかり結びます。
- ②ベールを元に戻し、ラインを巻きとります。ラインをスプールにしっかり巻くためには適度なテンションを掛けながら巻いてください。

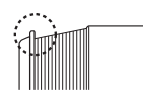
(ラインで指を傷つけないようにご注意ください。ラインを濡れたタオル等で押さえるかテンションアジャスターのご使用をお勧めします)



糸巻状態の調整

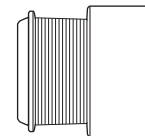


〈前巻状態〉
スプールとメインシャフトの間に付属のワッシャーを適宜追加して調整します。



〈後巻状態〉
スプールとメインシャフトの間のワッシャーを抜いて調整します。

〈標準状態〉
糸巻量はスプールの90%程度が適量です。



※糸を巻く力や糸の太さなどの違いでバラつきます。

スプール脱着

ドラグノブを反時計回りに回して外すとスプールの外すことができます。

※釣り場での作業では、ノブやワッシャーなどの紛失にご注意ください。